

精神疾患の基礎知識講座(令和6年度) ご報告



誰もが人生の主人公



今回の開催目的は、障害の有無に関わらず、ひとりの市民として豊かに生きていく道を探すために情報提供の場を設けたいというものです。制度的にいうならば、国が進めている「にも包括(精神障害にも対応した地域包括支援システムの構築)」のことで、言葉の難しさにへこたれないで、わかりやすく情報提供し、活用していただきたいと考えました。ご紹介する社会資源はいずれも名古屋市のもので、講座にご参加いただいた方々へささやかでもお力になればと思います。

名家連ニュースをご覧いただいている他市町村では開発途上の分野もあることでしょう。そこにお住いの方々にも参考にしていただく事例をご提供できたなら、それもまた私たちにとっては望外の喜びです。

1	<p>令和6年9月1日(日)午後2時から4時 中小企業振興会館第7会議室(4F) 「講座の全体像について」講師 日本福祉大学教授 青木聖久先生</p> <p>残念ながら、大型台風接近のため、まさに断腸の思いで中止を決定いたしました。諸事、日程の振替はありませんが、最終回で青木先生にご登壇いただきます。今回の講座にける私たちの思いをまとめて、参加者の皆さまと共有していただけるような素晴らしいお話が聞けることと役員一同期待しております。</p>
2	<p>令和6年9月22日(日)午前10時から12時 北区総合社会福祉会館 大会議室(7F) 「精神科救急医療について」講師 名古屋市健康増進課 榊原氏</p> <p>この日は雨で、足元が悪い中、52名の方に参加していただきました。講師は名古屋市の精神科行政の実務に20年以上関わっていらっしゃる方です。名古屋市の現状と精神科救急に関する家族へのアドバイスをわかりやすく説明していただきました。早期退院率が上がっていること、それに伴って地域の支援を充実させる必要があること、病気のある方も、現在病気になっていない方も、周囲が早めに心の変調に気付くことが大切とのお話が印象的でした。</p>
3	<p>令和6年10月5日(土)午後1時30分から4時 北区総合社会福祉会館 研修室(7F) 「グループホームについて」講師 社会福祉法人親愛の里 ぱれっとハウス 小野原氏 「居住支援について」講師 住まいサポートなごや 柳田氏 杉本氏</p> <p>残暑厳しい中、100名定員のところ、69名のご参加があり、皆さまの関心の高さが伺われました。誰にとってもハウジングプア(住まいに困窮すること)は大変な問題です。自宅に住み続けるのか、グループホームに入るのか、賃貸住宅に移るのかなど、選択肢がいろいろあるということが大切です。支援が必要だとしたら、どんな支援があるのか、初期費用はいくらかかるのか等、パッション溢れる講師の方々のお話に質疑応答も大いに盛り上がりました。</p>

